

全建発第5-078号
令和5年6月28日

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和
(公 印 省 略)

第694回建設技術講習会（これからの社会インフラの維持管理・更新）
開催のご案内について

謹啓 本会事業について、平素よりご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

さて、本協会では、標記建設技術講習会を別紙のとおり開催いたします。

本建設技術講習会では、インフラメンテナンスに関する施策の推進、新技術を活用した橋梁維持管理の取組、インフラメンテナンス現場の魅力、道路管理の瑕疵、持続可能なインフラマネジメント、地方公共団体におけるインフラメンテナンスの取組、インフラメンテナンスの人材育成などについて学ぶことを目的としています。

つきましては、貴協会の技術力研鑽の活動としてご活用いただきますようお願いいたします。

謹白

(一社) 全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎
TEL 03-3585-4546 FAX03-3586-6640
MAIL kensyu@zenken.com

全建発第5-079号
令和5年6月28日

国土交通省地方整備局 企画部長 殿
都道府県 建設関係部局長 殿
市町村長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和
(公 印 省 略)

第694回建設技術講習会（これからの社会インフラの維持管理・更新）
開催のご案内について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約6万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした団体です。

本会の講習会は、道路、河川、港湾、都市・地域整備等の各部門別の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからの社会インフラの維持管理・更新、Society5.0に向けた公共事業における新技術の活用、公共工事の品質確保と入札契約の適正化、災害復旧、工事積算における動向とi-Constructionの取組など、建設事業の実施に当たって特に重要な課題を取り上げることとしております。また、講師には建設行政や建設技術等の各分野において造詣が深い方を迎え、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっています。

このたびの第694回建設技術講習会では、インフラメンテナンスに関する施策の推進、新技術を活用した橋梁維持管理の取組、インフラメンテナンス現場の魅力、道路管理の瑕疵、持続可能なインフラマネジメント、地方公共団体におけるインフラメンテナンスの取組、インフラメンテナンスの人材育成などについて学ぶことを目的としています。

本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴機関職員が参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 謹白

第694回建設技術講習会のポイント



老朽化するインフラを戦略的に維持管理・更新するために

○開催日：令和5年9月6日（水）～8日（金）

○開催場所：愛知県名古屋市

○テーマ：これからの社会インフラの維持管理・更新

○主な講義内容

- ・インフラメンテナンスに関する施策の推進について、国土交通省本省の講師が解説！
- ・道路管理の瑕疵について、最近の判決例を踏まえ解説（扶桑共栄法律事務所弁護士 細見講師）
- ・道路や橋梁等の維持管理について、新技術や具体の取組事例を紹介！
- ・富山市でのインフラ・マネジメントの実績を踏まえ、これからの課題について考える

（植野インフラマネジメントオフィス代表 富山市政策参与 植野講師）

○現場研修

- ・100年の安全を目指した改築事業！（平成29年度全建賞受賞） 日光川水閘門 [愛知県]
- ・道路改築工事のICT施工、BIM/CIMの活用を視察！ 国道23号蒲郡バイパス [中部地整]
- ・ジブリパーク（2022年OPEN）との調和を図った公園施設の整備・改修！ 愛・地球博記念公園 [愛知県]

第694回建設技術講習会（これからの社会インフラの維持管理・更新）概要 ～維持管理における最新情報と取組事例及び公物管理を巡る紛争事例について学ぶ～

会場 …… 名古屋市公会堂（4階ホール）
〒466-0064 愛知県名古屋市昭和区鶴舞1-1-3
Tel.052-731-7191

| (1日目) | 開場11:40 | 令和5年9月6日(水) | (敬称略) |
|--|--|--|--------------------------|
| 12:40 } 13:00 | あいさつ | 愛知県知事 名古屋市長 (一社)全日本建設技術協会 常務理事 | 大村 秀章 河村 たかし 秋山 栄一 |
| 13:00 } 14:30 | インフラメンテナンスに関する施策の推進 | 国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 アセットマネジメント企画調整官 | 岩井 聖 |
| 14:40 } 15:40 | インフラメンテナンスの人材育成と活用 | 長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター特任研究員・名誉教授 | 高橋 和雄 |
| 15:50 } 16:50 | 写真家から見たインフラメンテナンスの現場の魅力 ～感動と感謝、今伝えたいこと～ | 山崎エリナ写真事務所 写真家 | 山崎 エリナ |
| 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 <希望者のみ> (18:00～19:30) | | リリーバンケット TEL 052-231-1023 | |
| (2日目) | 開場 9:00 | 9月7日(木) | (敬称略) |
| 9:40 } 10:40 | 道路管理の瑕疵について ～最近の判決例からみる管理瑕疵～ | 扶桑共栄法律事務所 弁護士 | 細見 孝二 |
| 10:50 } 11:50 | 新技術を活用した橋梁維持管理の取組 | 鹿島建設株式会社土木管理本部 土木技術部リニューアルグループ担当部長 | 池田 真理子 |
| 13:00 } 14:00 | 愛知県における道路施設の維持管理の取組 ～時代の変化に対応して道路をリニューアルし、次世代へ繋ぐ～ | 愛知県建設局道路維持課担当課長 | 加藤 敬 |
| 14:10 } 14:30 | 【地域事業の紹介①】 名古屋高速道路の大規模修繕について | 名古屋高速道路公社メンテナンス事業部 工事課主任専門員 | 飯塚 洋介 |
| 14:30 } 14:50 | 【地域事業の紹介②】 日光川水閘門と日光川排水機場の維持管理・更新について | 愛知県海部建設事務所排水機場管理課 課長補佐 | 松林 育夫 |
| 14:50 } 15:10 | 【地域事業の紹介③】 名豊道路の整備効果と蒲郡バイパスの事業概要(仮) | 国土交通省中部地方整備局名四国道事務所 副所長 | 大熊 健史 |
| 15:20 } 16:20 | 持続可能な社会へのインフラ・マネジメント | 植野インフラマネジメントオフィス代表 富山市政策参与 | 植野 芳彦 |
| 16:20 } | 閉会のあいさつ | 愛知県建設局技監 | 藤田 泰弘 |
| (3日目) | 集合(乗車) 8:00～ | 9月8日(金) 【現場研修】 | |

名城公園正門前駐車場(8:20)出発
→ 日光川水閘門[愛知県] → 国道23号蒲郡バイパス[中部地整]
→ 昼食(蒲郡市内) → 愛・地球博記念公園[愛知県] → JR名古屋駅(16:45)着後解散
※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

1 日光川水閘門 [愛知県]

…………… 愛知県海部郡飛島村

- ・日光川水閘門は、全国最大の海拔ゼロメートル地帯を流れる日光川流域を、伊勢湾台風規模の高潮や南海トラフ地震で発生が予想される津波から防御する、防災の要となる施設。
- ・昭和34年の伊勢湾台風の未曾有の被害を受け、昭和37年に設置。本体の老朽化が著しく、大地震により損傷する可能性があり、またこれまでの地盤沈下により高さが不足していることから、平成21年度から新たな水閘門の改築に着手した。
- ・100年の安心を目指した「日光川水閘門改築事業」は、平成30年3月に完成。平成29年度全建賞を受賞している。



2 国道23号蒲郡バイパス [中部地整]

…………… 愛知県蒲郡市

- ・国道23号蒲郡バイパスは、名豊道路（総延長72.7km）の一部として計画し、東は豊橋バイパス、西は岡崎バイパスと接続する延長15kmのバイパス。
- ・名豊道路の最後のミッシングリンクである蒲郡バイパスの未開通区間（延長9.1km）の令和6年度の開通に向けて工事を実施中。
- ・名豊道路の全線開通により、物流の効率化、災害に強い道路機能の確保が期待されている。
- ・道路の改築工事における ICT 施工や BIM/CIM 活用を視察することが可能。



3 愛・地球博記念公園 [愛知県]

…………… 愛知県長久手市

- ・愛・地球博記念公園は、2005年に開催された愛知万博（愛・地球博）長久手会場の跡地に整備された、約190haの広大な敷地を有する都市公園。
- ・愛知万博の理念と成果を次世代へ継承し、公園の魅力と価値を一層高めるため、公園内にスタジオジブリ作品の世界観を表現した公園施設「ジブリパーク」を整備している。
- ・5エリアからなるジブリパークは3エリアが完成し、令和4年11月に開園。現在残る2エリアを施工中。（ジブリパークは無料エリアからの視察）
- ・ジブリパークエリア外についても、公園の魅力をより高めるため、ジブリパークとの調和を図った公園施設の整備・改修を行っている。



第694回建設技術講習会【聴講】の申込みについて

【聴講の申込み】

1. 申込み手続き

申込み時に次の手続きが必要になります。

- ① 申込書の送付
- ② 聴講料の振込
- ③ 現場研修料の振込（現場研修に参加する場合のみ）

2. 申込み方法

① 申込書の送付

申込書に必要事項を入力し、次の送付先アドレスにメールで送付して下さい。

なお、聴講料等〔下記②及び③〕は、受付確認のメール受信後から開催前日までの間に
お振り込みをしていただくようお願いいたします。

※振り込み後、銀行振込の控え等を送付先アドレスに送付してください。

送付先アドレス meitetsu@zenken.com （メールアドレスにご注意ください）

※建設技術講習会のうち、宿泊及び現場研修については、名鉄観光サービス（株）が申込みを受け付けます。

それ以外については、（一社）全日本建設技術協会 事務局が受け付けます。

上記のアドレスに送付していただくことにより、（一社）全日本建設技術協会事務局及び名鉄観光サービス（株）に申込書が届きます。

② 聴講料の振込

参加者の聴講料を次の銀行口座に振込んで下さい。

三菱UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142

口座名義：シャ）ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ

※必ず、お振込人名義（協会名等）の前に、開催回数の「694」をつけ加えて下さい。

※振込手数料はご負担願います。

| 区分 | 一般 (非会員) | 会員 | | |
|--------------------|-------------|---------|----------|---------|
| | | 正会員 | 特別会員 | 賛助会員 |
| 通常料金 | 18,800円 | 13,700円 | 13,700円 | 13,700円 |
| 開催県内に勤務 | 13,700円※3 | 2,100円 | 2,100円※2 | — |
| 開催県内の市町村に勤務※1 | 2,100円 | 0円 | — | — |
| 開催地区連合会管内の市町村に勤務※1 | 18,800円 | 2,100円 | — | — |
| 30歳未満 | 18,800円 | 2,100円 | — | — |
| 開催県内の学生 | 0円 | — | — | — |

※1 政令市職員は対象外です

※2 特別会員は開催県内に勤務又は在住の方が対象です

※3 非会員は国・県・政令市に勤務の方のみが対象です

※一般／会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。

※会場でのお支払い等のご遠慮願います。

(参考)

③ 現場研修料の振込

「第694回建設技術講習会【現場研修】の募集について」に記載されています。

3. 申込み締切日

令和5年8月2日（水）正午まで（必着）

（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

4. 聴講の申込み内容の変更・取消

① 方法

申込み内容に変更又は取消が生じた場合、送付済の申込書に変更箇所がわかるように入力し、件名に「変更」又は「取消」と明記の上、2. の送付先アドレスに再送して下さい。電話での変更・取消は受付できません。

② 取消料について

取消日に応じて、下記の取消料が発生します。講習会終了後に所属協会等の指定口座へ、取消料及び振込手数料を差し引いた金額をご返金いたします。

なお、申込み以降に発生した災害対応業務に係る取消の場合は、取消日に関わらず全額（振込手数料は本会負担）をご返金いたします。

| 取 消 日 | 取 消 料 |
|---------------------|----------|
| 7日前（8月30日）～前日（9月5日） | 聴講料の 50% |
| 当 日（9月6日） | 聴講料の100% |

③ 現場研修の申込み内容の変更・取消

「第694回建設技術講習会【現場研修】の募集について」に記載されています。

5. その他

- ・テキスト及び聴講料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。
- ・参加者には、国内旅行傷害保険を掛けさせていただきます。
- ・事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。
- ・講習会情報については全建ホームページ（<http://www.zenken.com/>）もご覧ください。

6. 問合せ先

① 建設技術講習会

聴講の内容・申込み/現場研修の内容

（一社）全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎

TEL 03-3585-4546 E-MAIL kensyu@zenken.com

② 現場研修の申込み

「第694回建設技術講習会【現場研修】の募集について」に記載されています。

③ 宿泊斡旋の申込み

本開催では宿泊斡旋のご案内はありません。

【講習会会場及び現場研修集合場所等 案内図】



※交流会会場「リリーバンケット」への行き方：

地下鉄 舞鶴線・東山線「伏見駅」より、伏見地下街 をつきあたり、「E」出入口を出て 目の前。

第694回建設技術講習会【現場研修】の募集について

1. 日 程：

令和5年9月8日（金）8:20～16:45

集合（乗車）8:00～

名城公園正門前駐車場（8:20）出発

→ 日光川水閘門 [愛知県]

→ 国道23号蒲郡バイパス [中部地整]

→ 昼食（蒲郡市内）

→ 愛・地球博記念公園 [愛知県]

→ JR名古屋駅（16:45）着後解散

※現場研修のみの参加はできません。

※上記行程は都合により変更となる場合があります。

2. 添 乗 員：（一社）全日本建設技術協会 事務局員と名鉄観光サービス（株）添乗員が同行します。

3. 旅行代金：9,700円（税込）※昼食代1,320円（税込）含む
（現場研修料）

4. 申込方法：

① 申込書の送付

申込書に必要事項を記入し、次のアドレス宛にメールで送付して下さい。

なお、申込金【下記②】については、受付確認のメール受信後から開催前日までの間にお振り込みをしていただくようお願いいたします。

※振り込み後、銀行振込の控え等を送付先アドレスに送付してください。

送付先アドレス meitetsu@zenken.com （メールアドレスにご注意ください）

※建設技術講習会のうち、宿泊及び現場研修については、名鉄観光サービス（株）が申込みを受付けます。

それ以外については、（一社）全日本建設技術協会事務局が受付けます。

上記のアドレスに送付していただくことにより、（一社）全日本建設技術協会事務局及び名鉄観光サービス（株）に申込書が届きます。

② 旅行代金（現場研修料）の振込

参加者の旅行代金（現場研修料）を次の銀行口座に振込んで下さい。

振込口座：三菱UFJ銀行 新東京支店 普通 3318333

口座名義：メイテツカンコウサービス（カ

※必ず、お振込人名義（協会名等）の前に、開催回数「694」をつけ加えて下さい。

※振込手数料はご負担願います。

※会場でのお支払い等をご遠慮願います。

5. 申込締切日：令和5年8月2日（水）正午まで（必着）

（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

6. 取 消 料 :

| 取 消 日 | 取 消 料 |
|-------------|-------------|
| 10日前～8日前 | 現場研修料の 20% |
| 7日前～前々日 | 現場研修料の 30% |
| 前日 | 現場研修料の 40% |
| 当日 | 現場研修料の 50% |
| 無連絡不参加及び開始後 | 現場研修料の 100% |

7. 申込のお問合せ :

名鉄観光サービス(株) 全建担当デスク Mail: zenken@mwt.co.jp TEL 03-3343-0631

8. 視察内容のお問合せ :

(一社) 全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎
Mail: kensyu@zenken.com TEL 03-3585-4546

9. 旅行企画実施 :

名鉄観光サービス(株) 新宿支店 東京都新宿区西新宿1-19-8 新東京ビル6階
観光庁長官登録旅行業第55号 TEL 03-3343-0631 FAX 03-3348-2934
(一社) 日本旅行協会正会員

10. そ の 他 :

研修料の領収書は、入金を確認し研修終了後に送付いたします。視察資料は当日集合場所にて、参加証は終了後にお渡しいたします。

参加者には、国内旅行傷害保険を掛けさせていただきます。

事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。

詳しい取引条件を説明した書面を事前にご確認の上お申込み下さい。

第694回建設技術講習会に参加の皆様へ 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します！



(一社)全日本建設技術協会の建設技術講習会・実地研修会は、全国から多くの方々にご参加いただいています。この機会を、参加者同士が交流を図り、意見交換・情報交換を行うことで知見と人脈を広げ、今後の業務に役立てていただくため、必要とされる感染防止措置を講じた上で、「参加者同士の交流会」を開催する予定です。

この交流会は、講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流を図る場でもあります。ぜひ、皆様のご参加をお待ちしています。

日時：令和5年9月6日(水) 18:00～19:30(予定)

場所：リリーバンケット(別紙案内図参照)

会費：2,000円
(受付時にお支払いいただきます)

- ※新型コロナウイルス感染症拡大等の状況により、開催を中止とする場合があります。
- ※参加希望人数によって、開催を中止とする場合があります。
- ※開催時間は変更になることがありますので、開催当日にご案内いたします。
- ※参加希望の方は、申込書の「交流会」欄に〇印を記入して下さい。
- ※この交流会は会費制です。
- ※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。
- ※服装は特に問いません。



1. 研修会の参加者同士の交流促進を図る
 - ①参加者の知見と人脈を広げる(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
 2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など
- ※都合により内容が変更になる場合があります。

<問合せ> (一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com